

やまがた 労福協 NEWS 新年号 No.15

発行所／一般社団法人 山形県労働者福祉協議会 〒990-0044 山形市木の実町12-37

TEL 023-641-6503 FAX 023-641-6830 URL <http://yamagata.rofuku.net/>

2013. 1. 1



倦むことなく、探究心と情熱をもって

一般社団法人山形県労働者福祉協議会

理事長 大泉 敏男

新年おめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

民主党は政権運営に躊躇、壊滅的敗北を期しました。安倍首相は自助・自立論者であり、
共助を広げ、公助によるセーフティーネットを強めようとする私たちの運動が問われる一年
となります。

「巳」という字は、胎児の形を表した象形文字ですが、蛇が冬眠から覚めて地上に這い出す姿を表している、「起る、始まる、定まる」などの意味があると言われています。自民党政権の絶対多数は極めて残念ですが、倦むことなく、これまでの運動の蓄積を生かしながら、「探究心と情熱」をもって新たな運動をつくるという気概を持つことが必要です。

蛇は谷神、豊穣神、天候神等として崇められ、恩を忘れず助けてくれた人には恩返しをするとも言われています。大震災の被災地支援を継続しながら、自助自立、自己責任論に抗し、家族・職場・地域に「絆」「助け合い」「連帯感」の輪を広げるために、希望と安心の社会をつくるために「団結」し頑張っていきましょう。

本年も宜しくお願い申し上げます

監

理 専 務

副 理 事 長

タクタクタクタクタクタクタク
事

事 理 事

武 柏 藤 山 館 大 飯 佐 田 高 橋 森 高 武 三 門 大
田 木 橋 口 内 友 泽 藤 中 橋 橋 武 田 泽 脇 朗 豊 裕 玄
正 徳 実 繁 清 悟 廣 稔 治 正 和 俊 幸 朗 豊 裕 玄 敏



労働教育支援事業

若年労働者及び高校生向けに
労働関係制度をわかりやすく
コンパクトにまとめました！

県労福協ホームページ
でも閲覧できます。
携帯・スマホは
こちらから →





新春のあいさつ

(加盟団体、地区労福協より)



連合山形
事務局長 森 俊幸

新年あけましておめでとうございます。
昨年中は連合山形の諸活動に対しご理解と
ご協力を賜り厚くお礼を申しあげます。

先ず、第46回衆議院選挙の取組みに対し、
構成組織・組合員の皆様より昼夜を問わず献身的な取り組みに
心から感謝を申し上げます。

私たちを取り巻く環境は、現役世代の激減と総人口の減少、
資源確保の難しさ、地球環境問題への対応、それに加えての円
高やデフレなどの影響が、雇用の確保や社会保障までも脅かし、
先行き不透明感が強まっています。

2013年度も取り巻く環境は一層厳しく課題は山積しています
が、構成組織・地域協議会が一体となって運動を強化し、地域
に根ざした顔の見える運動を進めて参ります。「働くことを軸
とする安心社会」の実現に向け、すべての働く者の生活改善さ
れる取り組みを進めてまいりますので、これまで以上の構成組
織ならびに組合員皆様のお力添えをお願い申し上げます。

2013年皆様にとって素晴らしい年となることをご祈念申し上
げ、年頭のご挨拶といたします。



東北労働金庫山形県本部
本部長 門脇 玄

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
皆様におかれましては、穏やかに新年を迎
えられ、ますますご健勝のこととお慶び申
し上げます。

昨年は国連が定めた「国際協同組合年」として、協同組合の一員である労働金庫も、あらためて協同組合の意義・役割等について広くアピールするとともに、労金運動を再認識する取組みを進めてまいりました。昨年をキックオフ年と位置付け、今年以降も継続して取組んでまいります。

迎えた2013年は東北労働金庫創立10周年の節目の年であると
ともに、2014年1月の次世代システム稼働に向けた対応ならび
に第4期中期経営計画の確実な実践、東日本大震災の復興支援
など課題は多くありますが、労
働金庫に期待されている役割
発揮に努めてまいります。

本年も変わらぬご支援ご協
力をどうぞよろしくお願い申
し上げます。



山形県労働者住宅生活協同組合
理事長 小口 裕之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。そ
して輝かしい新年にあたり、組合員とご家
族の皆さまのご健康ご多幸をお祈りいたし
ます。

さて昨年は、東日本大震災から復興への支援と本県で発生し
た雪害・暴風雨災害などの自然災害に対し、備え・守り・再建
する「住まいと暮らしの防災保障点検運動」を通して「住まい
の保障」の重要性を実感した年であったと思います。併せて相
互扶助精神から誕生した協同組合への認知度を少しき高められ
たものと思っております。いずれの活動も道半ばであり、継続
して取り組んでまいります。

また昨今の共済事業を取り巻く環境は依然として厳しいもの
がございますが、全労済山形県本部役職員一同は、已年の本年
も一段と飛躍するグループにあやかり、
あなたの（A）くらしを（K）バックアップするため（B）

元気よく（蛇のハイテンションで）活動してまいります。

組合員の皆さまからの暖かいご支援を宜しくお願い申し上
げ、新年のご挨拶といたします。

い致します。

今年こそ、景気が上向きになり労働者が元気になる年のス
タートにしたいものです。生活の土台は「労働」です。労働者
が意欲的に働き、賃金を得、結婚し、家庭を持ち、そして、マイ
ホームを実現する。働くことで当たり前の生活ができる社会
にしたいものです。労住生協もそんなみなさんの夢が実現できる
ように活動してまいりたいと思います。

すでにお住まいになっていらっしゃる方々との対話も大切に
しながら、様々なニーズにお応えできるよう努力をしてまいり
ます。「住宅」のことでご相談・ご要望があればいつでもご連
絡いただければ幸いです。職員一同心を込めて対応致します。

皆様には引き続きのご愛顧をお願いし、年頭のあいさつにさ
せていただきます。皆様どうぞ良い年をお迎え下さい。



財山形県労働者信用基金協会
理事長 千葉 一弘

新年明けましておめでとうございます。常日頃は、山形県労福協に集う仲間の皆様からのご指導・ご支援を賜り、心から感謝し厚く御礼申し上げます。

さて、長引く景況の悪化は、勤労者の生活を直撃し、未だ多数の勤労者が景気回復を実感するには至っておりませんし、本格回復には、更に時間が必要であると思われます。

これまで山形労信協は、労働金庫と共に、勤労者に対する生活応援運動に積極的に取り組んできました。このような状況であるからこそ、勤労者のための保証機関として事業を行う時であると考えております。

今後とも、皆様方のご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、本年が皆様方にとりまして、良い年でありますことをご祈念申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



山形県生活協同組合連合会
会長理事 松本 政裕

新年明けましておめでとうございます。昨年は国際協同組合年として、県内でも様々な取り組みが行われましたが、山形県労福協に集う皆様のご協力を得て、3つの目標「協同組合についての社会的認知度を高める。設立発展を促す。それにつながる政策を定めるよう関係機関に働きかける。」について前進できたことを感謝申し上げます。

県生協連は今年55周年を迎えますが、11会員合計で組合員数は約23万3千名、出資金は86億円、総事業高は351億円を超える組織になっています。

山形県と県生協連から始まった自治体との災害協定は、昨年朝日町・尾花沢市との締結が成立し、10市5町になりました。

本年も『いつまでも住み続けられるまちづくり』をめざし、地産地消をはじめ、県民の「いのちとくらし」を守る運動に取り組んでまいります。

本年が県民にとって良い年でありますことをご祈念申しあげます。



(社)山形県勤労者福祉センター
理事 館内 悟

新年あけましておめでとうございます。日頃より勤労者福祉センター（大手門パルズ）をご利用いただきまして心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、長引く不況と、一昨年の東日本大震災の影響で伸び悩んだ会議室や宴会の利用拡大に向け、労働者福祉協議会に集う皆様からご協力いただき、単年度収支で黒字を確保することが出来ましたことに、重ねて御礼と感謝を申し上げます。

今年は、公益法人制度改革に伴う一般法人認定に向けた対応や、収支改善への取り組みなど多くの課題がありますが、労働団体、労働者福祉事業団体の活動が円滑にできるよう、「低廉な料金で、利用しやすい大手門パルズ」をめざし、職員一同、良質のサービスを心がけていく所存であります。

2013年が、皆様にとって素晴らしい年となることをご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



(公財)山形県勤労者育成教育基金協会
事務局長 山口 清

謹んで新年のご挨拶を申しあげます。昨年中は当協会の活動に対しましてご支援、ご協力を賜り、心から感謝し厚く御礼申し上げます。

当協会は山形県はじめ県内全市町村の絶大なるご支援を得るとともに、連合山形、労福協、県内の労働者福祉事業団体および労働金庫が一体となり、1993年（平成5年）11月1日に設立し、今年20年目を迎えます。

また、昨年、公益法人の認定を受け、4月1日に「公益財団法人」として新たなスタートをきりました。おかげさまで利子補給認定者が2,500名を超え、利子補給金交付累計は、3億2,148万円余となりました。今日の厳しい経済環境により家計に占める教育費の経済的負担は増すばかりであり、当協会で行っている利子補給事業に対する期待は一層高まっているものと考えます。あすの山形を担う若者の県内定着と地域活性化に向け、尚一層努力してまいります。

本年が良い年でありますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。



(一社)山形県経済社会研究所
所長 高木 郁朗

明けましておめでとうございます。労福協と労福協に加盟している各組織から私たちも山形県経済社会研究所（山形連合総研）によせられているご協力に深く感謝いたしました。今年もまたさまざまな場面で、ご一緒できることを心から期待しております。

私たちの研究所の年報2012年版に展開しておりますように、

いま日本は、経済・社会・国際関係を含む政治の全面で難局に直面しています。政治の動きをみると、残念ながら難局はさらに深まりそうです。この難局を開拓していくためには、雇用と福祉と安全を基軸とする社会的なプログラムを実現していくことが不可欠です。それも、誰らに造ってもらうのではなく、私たちもが協同で造っていかなければならない時代です。この意味で、労働組合、生協、労働者自主福祉事業団体を、ネットワーク的に幅広く結集している労福協のこれまで以上のご活躍を祈念しております。



飽海地区労福協
会長 斎藤 美昭

新年明けましておめでとうございます。
健やかなお正月をお過ごしの事とお喜び申し上げます。

飽海地区労福協は「人とくらし、環境に優しい福祉社会の実現！」をスローガンに取り組みを行っておりまます。主な活動として、①30年以上連続して開催の会員交流ビアガーデン、②偶数月に開催の無料法律相談会、③65回を数える勤労者体育祭、④春と秋に行うろうきんクリーン作戦、⑤退職者向けのライフサポートセミナー、⑥ろうきんふれ愛セミナー、そして、⑦新たにふれ愛カップリングパーティー等の事業を構成団体の協力のもと実施するとともに、労働者福祉の向上を目指して、酒田市へ要請書を提出してきています。

飽海地区労福協は、これからも会員、構成団体のニーズにあった事業・活動で、更なる発展を図っていきます。



田川地区労福協
会長 斎藤 雅毅

新年明けましておめでとうございます。
旧年は格別なるご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

東日本大震災からの復興、復旧が急務のなか、世界的な景気低迷、国内ではデフレ、社会保障の問題、消費税など我々労働者を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、田川地区労福協では会員すべての『助け合い』の基、各構成組織、関連団体と協力しながら労働者の福祉向上に取り組んでまいります。

今年も皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げ、新年のあいさつとさせて頂きます。



最上地区労福協
会長 渡辺 裕一

新年明けましておめでとうございます。
最上地区労福協の会長に就任いたしました渡辺です。地区労福協の役職は初めての経験ですが精いっぱい努めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

東日本大震災からの復旧・復興には「絆」「助け合い」という人と人とのつながりが欠かせません。また、新自由主義は競争社会を創り出しました。競争から協同の社会へ変えるために労福協運動が重要となります。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」人ととの和を大切に、地区労福協の取り組みに多くの働く仲間が結集できるように運動してまいります。
皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



西村山地区労福協
会長 高橋 敏明

新年明けましておめでとうございます。
昨年はお陰様をもちまして、西村山地区労福協結成から25周年を迎えることができました。会員の皆様はもとより、諸先輩方の運動の継続の賜物と感謝申しあげます。

記念事業として、11月30日に講演会と落語会を多くの方の参加のもと開催しました。中央労福協の塩原事務局次長から講演をいただき、三遊亭兼好師匠の落語を大いに堪能したところです。

労働者を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、本年も、働くもの及び家族の方の生活向上と福祉の充実を目的に、加盟団体との連携のもと活動を展開していく所存ですので、さらなるご支援とご協力をお願い申しあげます。

北村山地区労福協
会長 池田 俊郎

新年明けましておめでとうございます。
昨年中は労福協活動に多大なるご理解と、ご支援をいただきました事に心より御礼を申し上げます。

今年は已年で、私は節目の年男でございます。節目の年は節目らしく、新たに北村山地区労福協の会員の方々が楽しんでいただけるような企画等を考案していかなければと思っております。

今後も、引き続き『見える活動』を開催し、働く人々の活性化になるよう、そして地域に根ざした活動の更なる充実を図って行きたいと考えておりますので、2013年も皆さんの積極的な活動への参加宜しくお願い致します。



天童地区労福協
会長 浅沼 雄一

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、東日本大震災からの早期復興・再生が最重点課題であるとスタートした年でした。復興は一歩づつ着実に進んでいますが、被災者の生活再建までには至らず、脱原発や原発ゼロの政策論議が先行した感があり、被災者への配慮が欲しかったと考えます。今年も引き続き、震災復興をはじめ景気回復、社会保障問題等の課題は山積しておりますが、こうした時こそ加盟団体の一層の連携によって、地域に密着した活動が労働者福祉向上に不可欠と考え活動してまいります。

また今年は、私たちの経済環境や労働環境に大きな影響を与える国政選挙や各自治体選挙が予定されています。我われ働くものとその家族が、豊かさとゆとりを実感できる社会実現に向けた、我われの視点に立った政策が展開されることを期待しているところであります。めまぐるしい一年になることが予想されますが、関係労福団体と連携して労働者福祉運動に取り組んでまいります。本年もよろしくお願いいたします。



山形地区労福協
会長 大城 啓

新年あけましておめでとうございます。
さて、昨年は、東日本大震災の復興もままならないまま、消費税増税が先行し、一方では、国境をめぐる勇ましい発言ばかり耳にしました。しかし、今、必要なことは、足下を見つめ、安定した労働環境と安心できる生活環境を確保し、もって確かな社会を築くことです。拙速な「改革」は、経済活性化ではなく社会の貧困化を招くことは、先の「構造改革」で経験済みです。格差が広がり、社会が不安定化する中で、セーフティーネットの構築と労働者福祉の充実はますます大事なものとなります。

山形地区労福協は昨年、結成25周年を迎え記念事業にも取り組んでおりますが、これからも引き続きよろしくお願ひいたします。



上山地区労福協
会長 枝松 直樹

明けましておめでとうございます。
一昨年は、坪井主義や物欲から離れて、本来の人間らしい慈しみに溢れた精神へと価値観の転換を強いられた大事件が起きましたが、現実の社会は、原発の再稼働に端的に象徴されるように、未だに人間の命=生存よりお金を優先させています。

TPPも原発と同様に人間の協同を壊す仕組みであり、日本社会を壊す企てです。TPPは、中国に対抗するアメリカの世界戦略の性格を帯びており、それに参加することは日本が属国として荷担することを意味します。

私たちが望む社会は、庶民が中心に位置する社会です。2013年が、そのような年になることを念願するとともに、労福協がその運動の一助に資することを願う次第です。



西置賜地区労福協
会長 佐藤 浩昭

新年あけましておめでとうございます。
日本経済は一昨年の東日本大震災の影響も受け、円高・デフレによる景気低迷からの脱却が困難化しています。一方、非正規雇用者が社会の中で3分の1を占めるという状況下の中で、格差社会・低所得者層の拡大に歯止めがかかっておりません。

経済も政治も極めて不安定な状況にある中で、地域と職場から私たち労福協の運動を強化していかなければなりません。

西置賜地区労福協は、労働組合を中心とした33会員と7団体の仲間で運動を進めているところですが、県内の仲間の皆さんとの連携を大切にし、労働者福祉運動の強化に向け、共に取り組んでまいりたいと思います。今年もよろしくお願ひ申し上げます。



東置賜地区労福協
会長 太田 吉運

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新たなる年を新たなる気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、格別なるご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年暮れの衆議院選挙での大敗は、私たちの暮らしに大きな影響を与えるばかりか、益々、現在の生活環境や今後の暮らしに暗い影を投げ掛ける結果となってしまいました。この現実を真摯に受け止めて、福祉事業団体の先頭になって活動して労福協の役割りを果たしてまいります。

この厳しさを、地域の仲間と共に、団結を強化して全力で立ち向かう決意を申し上げて新年の挨拶といたします。



米沢地区労福協
会長 斎藤 貴裕

新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

また、常日頃から米沢地区労福協の取り組みに対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は国際協同組合年ということで、様々な取り組みを展開してきましたが、現在の不透明な経済状況、様々な問題を抱えた政治状況、そして不安定な社会状況を踏まえた場合、今後も勤労者福祉向上の取り組みが益々重要になってくると思います。

昨年の国際協同組合年をひとつのステップとして、労福協の成長・発展の為に、引き続き全力を挙げて取り組むことをお約束し、本年が会員の皆様方にとって良い年となりますようご祈念申し上げて、新年の挨拶とさせて頂きます。

総合的就業・生活支援事業

県内各地で開催中！

求職者の暮らしや仕事に関する相談会

相談時間は 13:00 ~ 16:00 予約不要です

地域（相談会場）	相談日
酒田（若者就職支援センター庄内）	1/4 2/1 3/1
鶴岡（ハローワーク鶴岡）	1/9 2/13 3/13
新庄（ハローワーク新庄）	1/11 2/8 3/8
村山（ハローワーク村山）	1/16
寒河江（ハローワーク寒河江）	2/20
長井（ハローワーク長井）	1/23 3/27
南陽（ワトワセンター南陽）	2/27
米沢（ハローワーク米沢）	1/18 2/15 3/15

問い合わせは、00800-800-7867

山形県求職者総合支援センターまで。

勤労者福祉拡充に関する要請書を提出 = 山形県と県労福協の懇談会 =

11月13日、山形県と県労福協の懇談会をあこや会館にて開催しました。山形県からは高橋副知事、深澤商工労働観光部長はじめ、雇用対策課、くらし安心課、高校教育課の各課長ら6名が出席、県労福協側は各加盟団体代表者など15名が参加しました。

懇談会に先立ち、県労福協として取りまとめた「県政の勤労者福祉拡充に関する要請」を、大泉理事長から高橋副知事に手渡しました。なお、本要請に対する回答は後日文書にていただきます。(要請した10項目は下記のとおりです。県労福協ホームページでは要請内容全文が閲覧できます)

その後、高橋副知事よりご挨拶と、これから県政運営の基本的な考え方についてお話しいただき、副知事は「『県民一人ひとりが喜びと幸せを実感し、活き活きと輝いて生きていける山形県』の実現に向け、これからは『産業・雇用』『子育て・人づくり』などの6つの歯車を噛み合わせながら目標に近づけていく」と説明されました。

意見交換会では、「消費者教育推進地方協議会」に関すること、消費者行政の現状や課題、高校での消費者教育などについて意見を交わしました。



勤労者福祉拡充に関する要請（抜粋）

1. 協同組合の育成・発展のための研修会などの開催
2. 「消費者教育推進地方協議会」の設置と、この協議会への消費者代表及び労働者代表の参画
また、消費者行政に対する財政措置の拡充、消費生活相談員の待遇改善への更なる強化
3. 高校生を対象に、消費者教育として外部から講師を招いた「特別授業」や「研修会」の開催
4. 「労働者福祉団体等支援資金」及び「賃金手当対策資金」の継続措置
5. (公財)山形県勤労者育成教育基金協会の事業について、メールマガジン「労働やまがた」への定期掲載
6. 原油高騰の要因の「投機マネーの流入」の規制強化と、「新しい石油行政」を構築するよう国への働きかけ
また、県として、生活弱者のための「福祉灯油」の拡充などの支援対策の実施
7. 「食の安全・安心条例」の制定
8. 「省エネルギー及び再生可能エネルギー推進条例（仮称）」の制定
9. 自殺、うつ病に対する偏見を取り除く「健康教育・講演活動」の推進
また、県内の専門家と提携し「メンタルヘルスの実態調査」の実施
10. 福島第一原子力発電所の事故により県内に避難している方々への支援策の更なる強化
また、国に対する要請の、より強力な働きかけ



生活なんでも相談 Q&A

No.9



新年のご挨拶

一般社団法人山形県労働者福祉協議会 顧問 設 楽 作 巳 <回答: 設楽作巳弁護士>

明けましておめでとうございます。皆様にとってどんなお正月だったでしょうか。旧年は世界の主要国で政権の交替がありました。我が国においても民主から自民に交替することになりましたが、どうなるんでしょう。

我が国は現在、対外的には領土問題、TPP参加の是非、内的にはデフレの脱却、消費税増税の賛否、脱原発の当否、東日本大震災の復興等多くの喫緊の重要問題を抱えています。どの政権党にとっても回避できない重大案件でしょう。特にデフレは国の総需要が総供給を下回るため、物価の下落が生じ、それにも拘わらず需給の乖離が縮小しない病理的経済現象であるところ、公共投資、金融緩和政策で容易に解決されないのが現在のデフレでしょう。新政権がどのような具体策を講ずるのか厳しく見守ることとし、かつて昭和初めの世界恐慌を解消する手段として提唱されたケインズ理論のように、新鋭経済学者によるデフレ脱却に役立つ学説の提唱を期待することにしましょう。

Q.

1年前、交際していた彼から「お前の名前でカードを作つてほしい、返済は俺がするから」と言われ、彼の言うとおり私名義のクレジットカードを作り、彼に渡してしまいました。

彼とは半年前に別れましたが、カードは返却してもらっています。

数か月前から、クレジット会社から私宛に督促通知が届くようになりました。彼に電話しましたが通じません。彼の住所も勤め先も分かりません。

私が返済しなければならないのでしょうか。もし、彼の居場所が分かれば彼に請求できますか。

A.

あなたは自分の意志でクレジット会社との間にカード契約を締結したことになります。そして、そのカード契約の条項の中には、カードを他人に貸与してはならないとか、紛失した時は直ちにクレジット会社に届出てカード無効の取扱いを受けること、紛失届の提出を怠りその間に他人がカードを使用した場合はあなたに責任がある、などとする条項があるのが一般的です。

あなたはまずカード契約に違反して彼にカードを貸与し、彼がカードを使用して金銭を借りたり、物品を買つたりしたでしょう。金銭の借入れ、商品購入代を彼がクレジット会社に約束通り返済していれば問題は公にはなりません。しかし、彼があなたとの約束を破り、カード使用による代金を支払わなかつたとき問題となります。

その場合、あなたはカード契約者として、クレジット会社に彼がカードを使用して負担した代金の支払責任を免れることはできません。ただし、あなたがクレジット会社に支払った代金を彼に求めることが出来ることは当然です。

トラブルを未然に防ぐためにも、彼と別れる時にカードを返してもらうべきだったでしょう。そうしなかったのはあなたの不注意です。

生活なんでも相談 集中相談会のお知らせ
2/22(金)23(土)24(日) 10:00 ~ 17:00
TEL 0120-39-6029



おかげさまで45周年！

全ての「働く方」へ「住まい」の夢を！

山形県住宅生協 にお任せください！

ガーデンテラス
七日町

サービス付き高齢者
向け住宅(賃貸)

宅地分譲

嶋・城西町
近江

住宅

新築・増築
リフォーム
不動産仲介

旧年中は格別のお引き立てを賜り
厚く御礼申し上げます。
本年もご愛顧の程お願い申し上げます。

平成二十五年元旦

謹賀新年



山形県住宅生協

山形県労働者住宅生活協同組合
山形市木の実町12-37大手門パレス1階

お問い合わせ (日・祝は除きます。)

午前 9:00 ~ 午後 5:00

TEL 0120-32-6878

●宅建業免許/山形県知事(14)第256号 ●東北地区不動産公正取引協議会加盟 ●(社)山形県宅地建物取引業協会会員

(公財)山形県勤労者育成教育基金協会 利子補給制度対象商品

ふるさと奨学ローン

**【お取扱い期間】
2012年10月1日～2013年3月末日
期間中にお申込みを受付け、2013年3月末までに実行するご融資が対象となります。**

**応援します
未来の主役たち**



ふるさと奨学ローン<仕送りサポート返済>ご利用時の適用金利 (2013年1月1日現在)

特約期間中 (最長6年間 保証料込)		特約期間終了後	
団体会員の方	年2.00%	団体会員の方	年2.50%
団体会員以外の方	年2.50%	団体会員以外の方	年3.00%
団体会員の方	年2.85%	団体会員以外の方	年3.35%
団体会員の方	年3.15%	団体会員以外の方	年3.65%

※期間中、大幅な金利変動により適用金利を見直す場合があります。

商品概要 **ご融資金額 最高1,000万円** **ご融資期間 最長10年 (固定金利)** **※特約期間 (在学期間中のうち、最長6年間) のご返済期間を含みます。**

■ご利用いただける方 ◎山形県内に原則として1年以上居住または勤務されている方
◎原則20歳以上、勤続年数1年以上、前年の税込み年収が150万円以上の方 ◎当金庫の審査基準を満たされる方

■お使いみち 入学金や授業料、仕送りなど、ご本人やご親族の方の教育費用

■ご返済方法 毎月、または毎月・ボーナス併用の元利均等返済。仕送りサポート返済ご利用の場合は、段階金利方式による毎月、または毎月・ボーナス併用の元利均等返済となります。(原則としてボーナス返済部分はご融資額の50%以内です) ※特約期間中は特別金利が適用となり、ご返済額はご融資金額に応じた当金庫が定めるご返済額となります。※ご融資期間中、ご返済額の変更や金利タイプの変更はできません。

■担保・保証 担保は不要です。当金庫指定の保証機関をご利用いただきます。

※店頭でご希望にあわせたご返済額の試算をいたします。※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※《仕送りサポート返済》の特約を利用しないプランもご用意しております。※店頭に説明書をご用意しております。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

【利子補給制度】
(公益財団法人山形県勤労者育成教育基金協会)

本ローンの対象のご本人・ご親族が卒業後山形県内に就職または就業した場合は、それ以降の利子に対して元金200万円を限度に、年1.0%の利子相当分が公益財団法人山形県勤労者育成教育基金協会より補給されます。

2013年1月1日現在

詳しくはお近くのろうきん窓口、またはフリーダイヤルまでどうぞ。

東北労働金庫山形県本部 **0120-1919-62**
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

NEW!!マイカーコンセント

ZENROSAI NEWS
0612A025

2012年12月
制度改定

あなたのカーライフを応援する
マイカーコンセントです。

自動車総合補償共済

最大22等級64%割引
安全運転で無事故を続けた期間が長いほど、おトクになります。

全労済は、宮利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保険のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済山形県本部
(山形県勤労者共済生活協同組合)

山形市城南町1-18-22
023-646-4666(代)

■中央支所 山形市城南町1-18-22 023-646-4667	■鶴岡支所 鶴岡市泉町8-73 0235-23-6100	■米沢支所 米沢市金池3-2-7 0238-22-6065
■酒田支所 酒田市千石町2-13-16 0234-23-3160	■新庄支所 新庄市大手町5-6 0233-23-5995	■長井支所 長井市あら町5-36 0238-83-6035